

## 「環境観測衛星シンポジウム-暮らしを支える宇宙の目-」の開催について

(独)宇宙航空研究開発機構(JAXA)は、暮らしを支える分野での環境観測衛星の活躍に関する話題を中心に、人工衛星の国民生活への貢献について理解を深めていただくことを目的として公開シンポジウムを開催します。

本シンポジウムでは、環境観測衛星の果たす役割や農業・水産・災害・気象・健康など私たちの生活に身近なところで役立つ衛星利用の事例についてご紹介します。

人工衛星利用に関心をお持ちの一般の方々、人工衛星の利用者、研究者まで多くの来場者に講演やパネルディスカッションを通じて環境観測衛星利用の意義と将来への期待について理解を深めていただきます。

なお、今年度、種子島宇宙センターより打ち上げを予定している GCOM-W1(第一期水循環変動観測衛星)の愛称募集キャンペーン(7月1日~8月31日)にたくさんのご応募をいただきましたが、いよいよ本シンポジウム会場で GCOM-W1 の愛称を発表いたします。

1. 日時:平成2011年9月21日(水) 15:00~19:00

2. 場所:フジサンケイプラザ (千代田区大手町1-7-2)

<http://www.s-plaza.com/map/index.html>

3. 後援(予定):宇宙開発戦略本部(予定)、文部科学省(予定)、農林水産省、気象庁

4. プログラム概要(別紙参照)

5. お申込み方法

下記ホームページより、お申し込みください。(参加無料)

(URL:<http://www.prime-pco.com/gcom2011/>)

(定員数を超えるお申込みについてはお断りさせて頂く場合もありますので、ご了承ください。)

本件問合せ先: シンポジウム事務局 e-mail: [sobue.shinichi@jaxa.jp](mailto:sobue.shinichi@jaxa.jp)

宇宙利用ミッション本部 祖父江 tel:050-3362-5782

6. 参考サイト

(独)宇宙航空開発研究機構

宇宙利用ミッション本部 HP <http://www.satnavi.jaxa.jp/>

## 「環境観測衛星シンポジウム-暮らしを支える宇宙の目-」 アジェンダ

司会： 郡 正夫

1	15:00-15:10	開催挨拶	JAXA 本間正修 宇宙利用ミッション本部長
2	環境観測衛星の国民生活への貢献について		
	15:10-15:35	食料安全保障・農業分野	農林水産省 大臣官房食料安全保障課(予定) 農業環境研究所 岡本上席研究員
	15:35-16:00	水産分野	水産庁 増殖推進部研究指導課(予定) 漁業情報サービスセンター 為石日出生専務理事
	16:00-16:20	公衆衛生分野 - 黄砂予報	気象研究所 三上正男 環境・応用気象研究部部長
	16:20-16:40	災害分野 火山噴火	火山予知連絡会会長 藤井敏嗣 東京大学名誉教授
	16:40-17:00	災害分野 森林火災	福山市立大学 福田 正己教授
	17:00-17:20	気象分野	気象庁 佐藤芳昭 予報部数値予報課 データ同化技術開発推進官
	17:20-17:30	休憩	
3	17:30-17:35	GCOM-W1(第一期水循環変動観測衛星)の愛称発表	
4	17:35-18:50	パネルディスカッション -暮らしを支える宇宙への期待-	モデレーター： 室山哲也 NHK 解説委員 パネリスト： 住 明正 東京大学教授、向井千秋 宇宙飛行士、JAXA GCOM プロジェクトほか  若干名の質問希望者に登壇してもらい、質疑応答を行う中で、環境観測衛星がどのように暮らしに役立っているかを紹介する。
5	18:50-19:00	閉会挨拶	東京大学 住明正 教授